

顆粒用少量薬剤散布機

薬剤散布機

THM-S-1

THM-S-2

THM-S-3

取扱説明書



この製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ずこの 取扱説明書 をお読みください。

間違えた使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。

目 次

はじめに.....	2
安全に作業するために.....	3
梱包内容.....	4
各部の名称.....	5
取付金具の種類.....	6
組立要領.....	7
■ロータリーマウント取付サンソワー共着.....	7
■トラクタ本機取付サンソワー共着.....	8
■角パイプ取付.....	11
■ホースの取付.....	13
■操作ボックスの設置.....	15
■干渉の確認.....	16
操作ボックス仕様.....	18
■操作方法.....	18
■配線のつなぎ方.....	19
散布量の調整.....	20
■散布量調整ハンドル操作.....	20
■薬剤別散布目安表 1本口、2本口用.....	22
■薬剤別散布目安表 3本口用.....	24
■1分間当たりの散布量計測.....	25
■データ記録表.....	25
1日の作業.....	26
■作業前の点検.....	26
■作業の流れ.....	26
■1日の作業が終了したとき.....	26
不調の発見と処置.....	27
保管.....	28
■シーズンの作業が終了したとき.....	28

この度は薬剤散布機 THM-S をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

はじめに

使用目的について

薬剤散布機 THM-S は微粒状の資剤を散布することを目的とした作業機です。
他の使用や改造などは故障や事故を引き起こすおそれがありますので、決しておこなわないでください。
他の使用や改造などをした場合は補償の対象になりませんのでご注意ください。
本製品は薬剤の効果を保証するものではありません。
1 回の作業で散布可能な薬剤は 1 種類のみです、薬剤の混合はおこなわないでください。

ご使用前に

- 取扱説明書は薬剤散布機 THM-S の取扱方法と使用上の注意事項について記入してあります。
ご使用前には必ずこの取扱説明書を理解するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も必ず製品とともに保存してください。
 - 製品を貸したり、ゆずり渡されたりする場合はこの取扱説明書を製品に添えてお渡しください。
 - この取扱説明書を紛失または汚損された場合は速やかにお買い上げ先にご注文ください。
 - 品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。
その際には本書の内容及びイラストなどの一部が本製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。
 - ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げ先にご相談ください。
 - ⚠ 印の下記マーク付の項目は安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

⚠ 危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

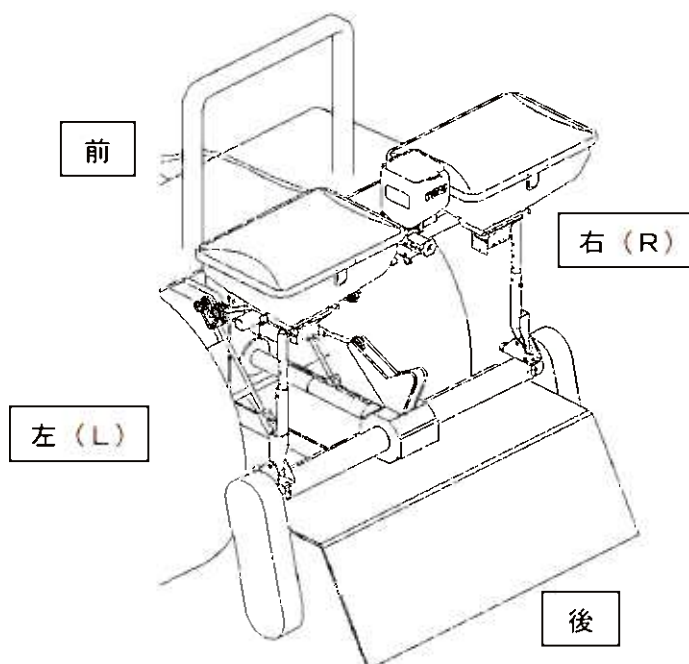
⚠ 注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」が記入してあります。ご使用前に必ずお読みください。

□取扱い説明書についての注意点

本文説明の中で“左・右・前・後”とは、トラクタの進行方向に向かってみた方向です。



安全に作業するために

ここに記入されている注意事項を守らないと、傷害や事故及び機械の損傷が生じるおそれがあります。

○電装に関する注意事項

 警告	格納時は電気部品や配線類を点検しバッテリーとの接続をはずしておいてください。 〔守らないと〕 ショートしてやけどや火災をおこすおそれがあります。
 注意	ぬれた手でバッテリーや接続部に触れないでください。 〔守らないと〕 感電するおそれがあります。

○回転部分に関する注意事項

 注意	モーター回転時は回転部分へ手や身体を近づけないでください。 〔守らないと〕 巻き込まれ、ケガをするおそれがあります。
---	---

○薬剤投入時の注意事項

 注意	薬剤の投入は平坦な場所でトラクタとロータリーを停止させ、かつロータリーを下げた状態で行ってください。 〔守らないと〕 トラクタやロータリーによってケガをするおそれがあります。
---	--

○移動、輸送時の注意事項

 注意	ホッパー内に薬剤を入れたままの走行は絶対に止めてください。 〔守らないと〕 バランスを崩し、事故をまねき薬剤散布機の故障の原因となります。
 注意	トラクタに装着したままでの走行はしないでください。 〔守らないと〕 法規違反となり、また対向車や人、建物との接触事故をまねくおそれがあります。
 注意	輸送時はフタを取外してください。または、しっかりと固定してください。 〔守らないと〕 対向車や人、建物との接触事故をまねくおそれがあります。 また、フタの破損をまねくおそれがあります。

○取付時の注意事項

 注意	薬剤散布機の着脱は平坦な場所でトラクタのエンジンを停止させ、ロータリーを下げた状態で行ってください。 〔守らないと〕 下敷きになったりケガや破損をまねくおそれがあります。
---	--

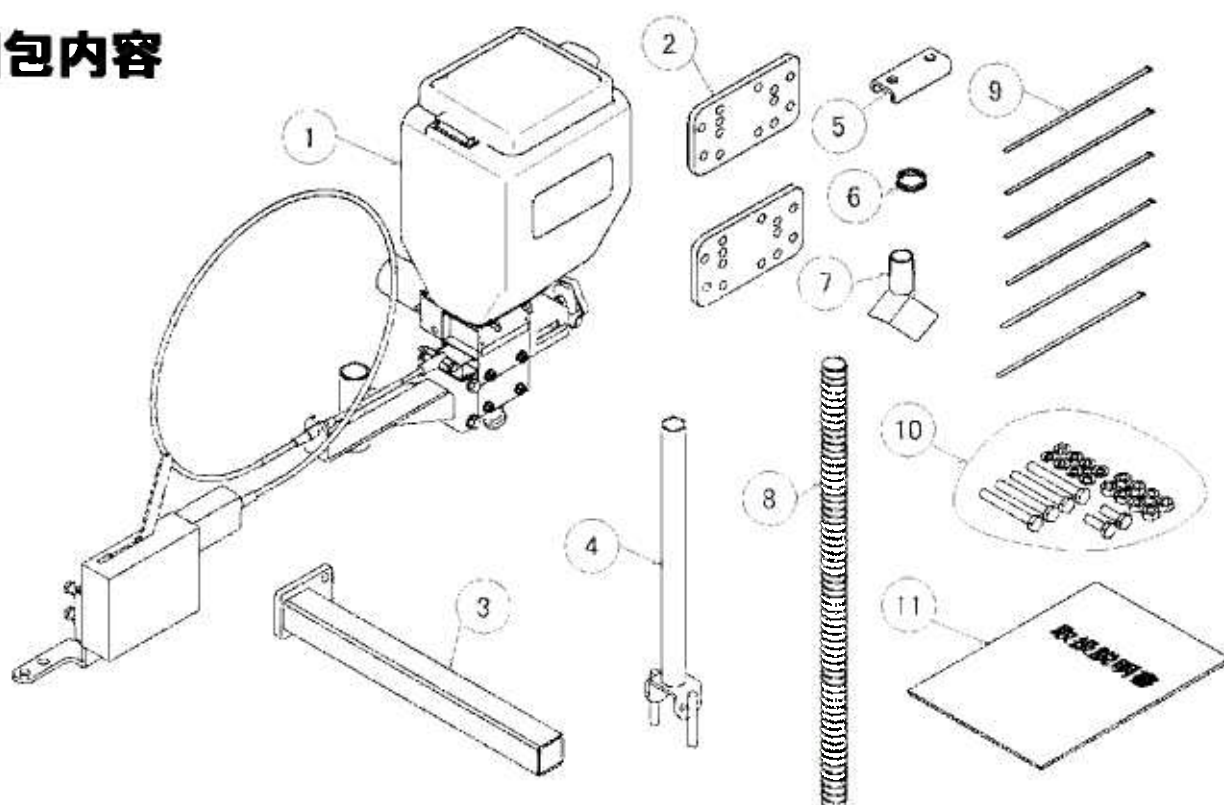
○散布時の注意事項

 警告	・農薬用マスク、保護メガネ、手袋などを着用し安全な服装で作業してください。 ・ホッパーに残った薬剤は必ず完全に排出してください。有毒ガスによる危被害の恐れがあります。 ・薬剤散布作業後の機体、散布装置は十分に洗浄し、洗浄廃液は安全な場所に処理してください。 〔守らないと〕 薬剤による中毒等をおこすおそれがあります。
 注意	雨の日など、天候の悪い環境での薬剤散布は行わないでください。 〔守らないと〕 薬剤散布機の故障の原因となります。 また正常な散布が行えません。

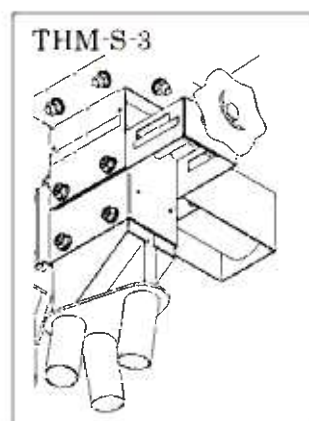
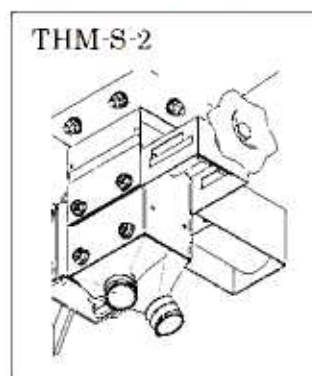
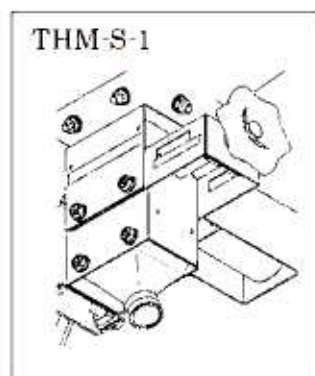
○清掃・整備時の注意事項

 注意	清掃や整備はトラクタのエンジンを停止させ、ロータリーを下げ、電源コードを外してから手袋を着用して行ってください。 〔守らないと〕 不意な作動によりケガをするおそれがあります。
---	--

梱包内容



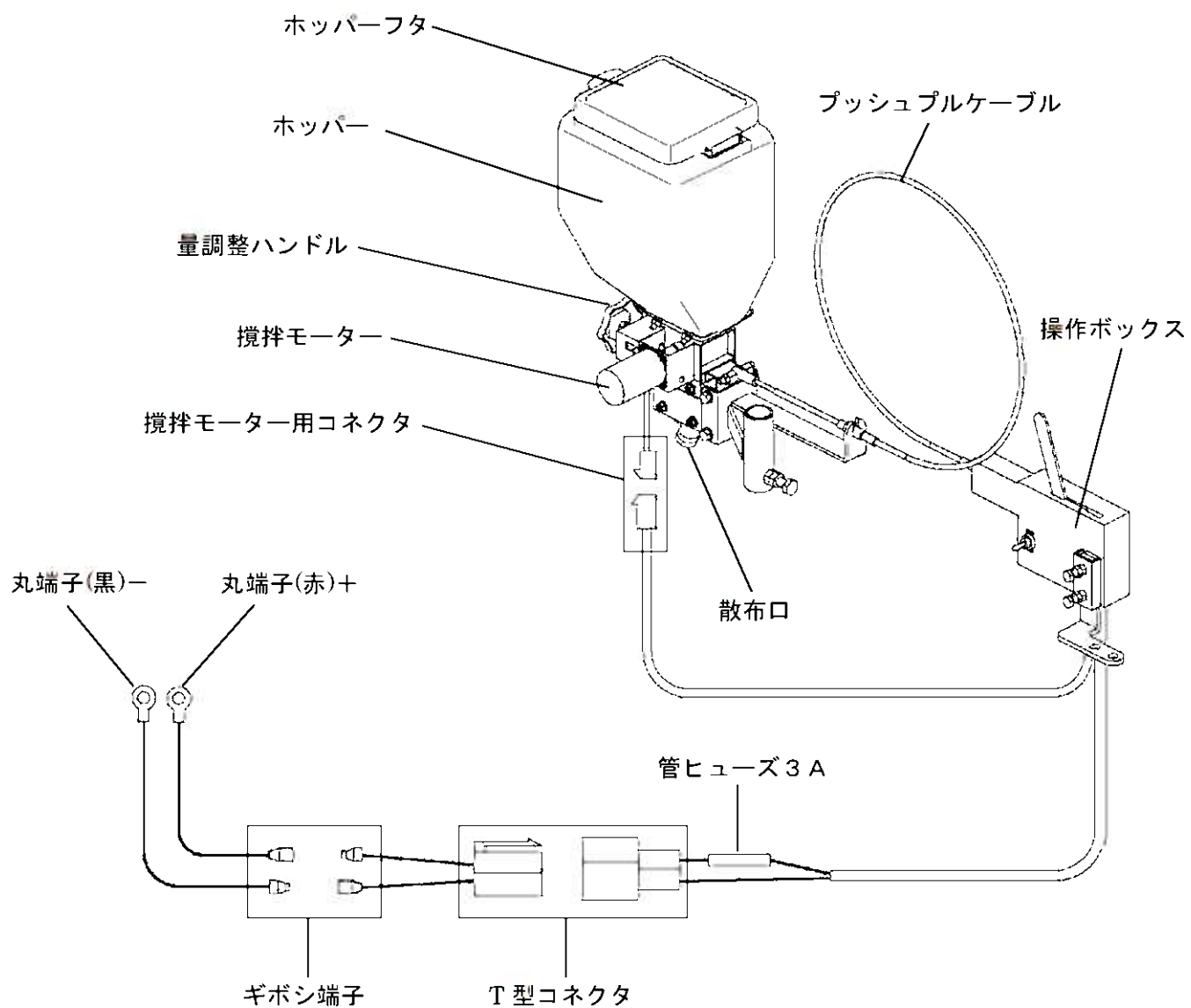
※S-1、S-2、S-3の本体は散布口の形状が異なります。



◎梱包明細

No.	名称	個数		
		S-1	S-2	S-3
1	本体	1		
2	取付プレート	2		
3	取付フレーム	1		
4	取付金具	1		
5	締付プレート	1		
6	ホースバンド	2		6
7	拡散版	1	2	3
8	ホース	1	2	3
9	リピータイ	6		
10	袋入りパーツ	1		
11	取扱説明書	1		

各部の名称



取付金具の種類



注意

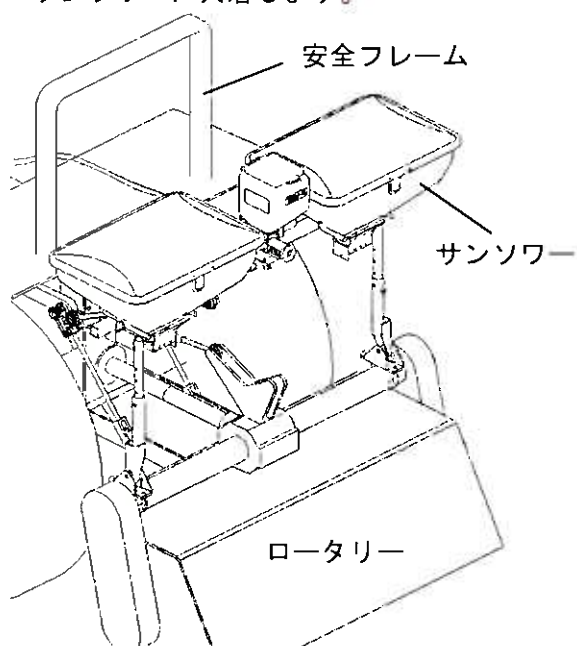
薬剤散布機の着脱は平坦な場所でトラクタのエンジンを停止させロータリーを下げた状態で行ってください。

※取付金具は、角パイプ挟み込み方式、サンソワー共着方式、ロータリマスト取付方式があります。ロータリマスト取付方式については、RT用取付部の取扱説明書を参照してください。

サンソワー共着方式 (サンソワーは別売りとなります)

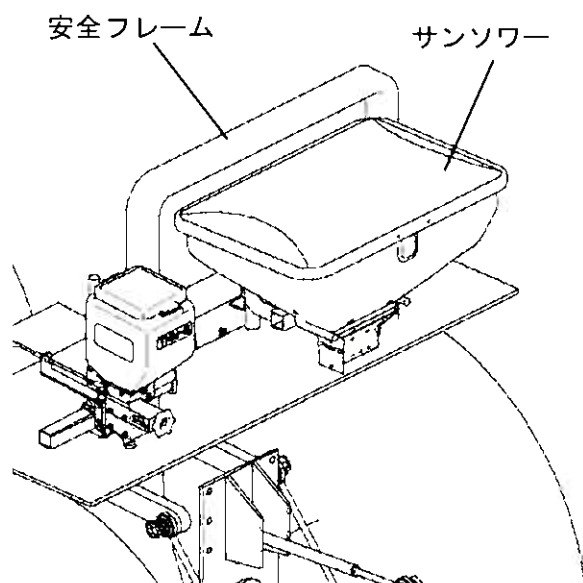
■ロータリーマウント取付方式

- ・ロータリーマウント方式で取付されているサンソワーに共着します。



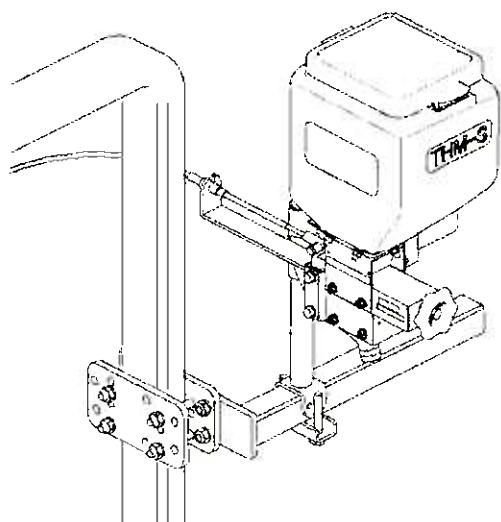
■トラクタ本機取付方式

- ・トラクタ本機に取付されているサンソワーに共着します。
(取付け方法については機種により異なります。)



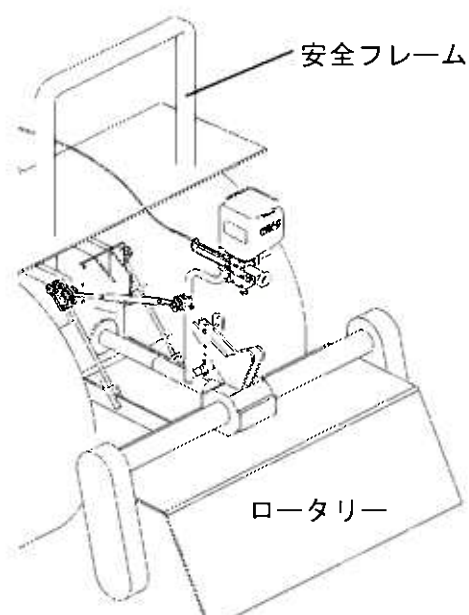
角パイプ挟み込み方式

- ・縦方向の角パイプに取り付けます。



ロータリマスト取付方式

- (RT用取付け部は別売りとなります)



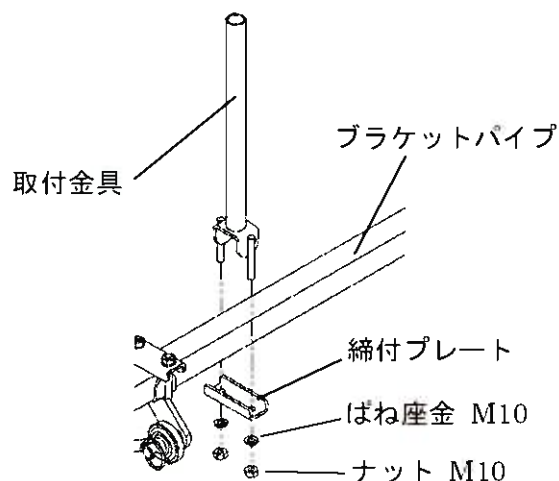
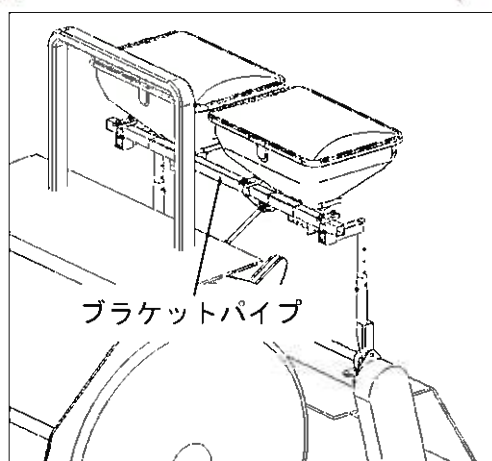
組立要領

■ロータリーマウント取付サンソウー共着

⚠ 注意	サンソウーと THM-S 本体間の距離は、片側 15mm 以上離して装着してください。 〔守らないと〕 薬剤散布機と干渉し、破損する恐れがあります。
⚠ 注意	共着後にサンソウーのフタを開ける際は THM-S 本体との干渉に充分注意してください。 フタ、本体が破損する恐れがあります

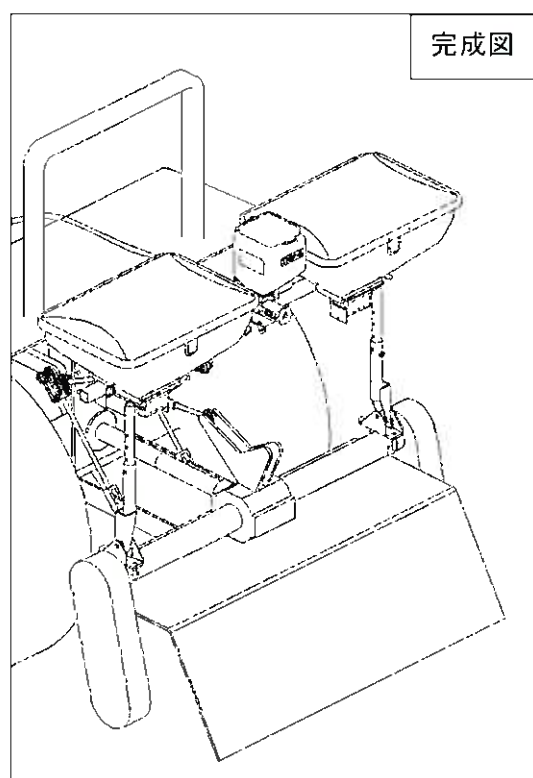
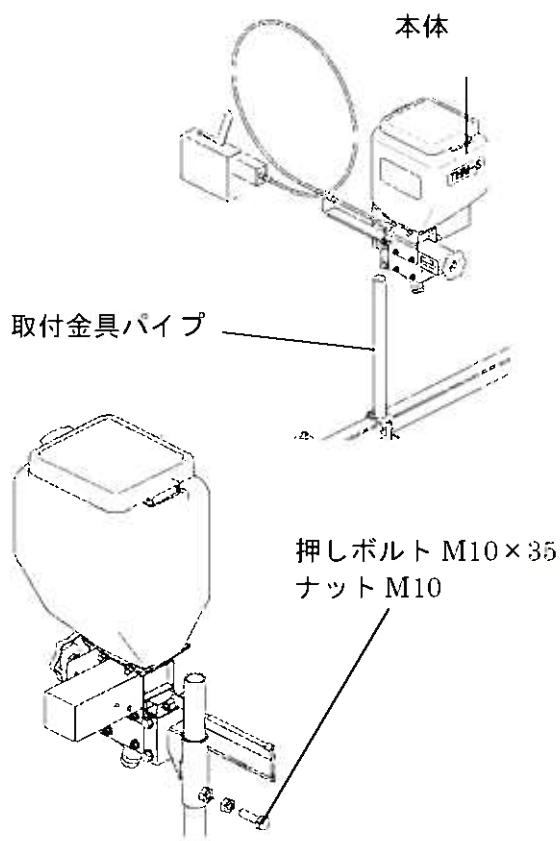
①取付金具を角パイプ（ブラケットパイプ）に固定する

取付金具と締付プレートでブラケットパイプをナット M10 とばね座金 M10 を使用してはさみ込みます。



②本体を取付金具に固定する

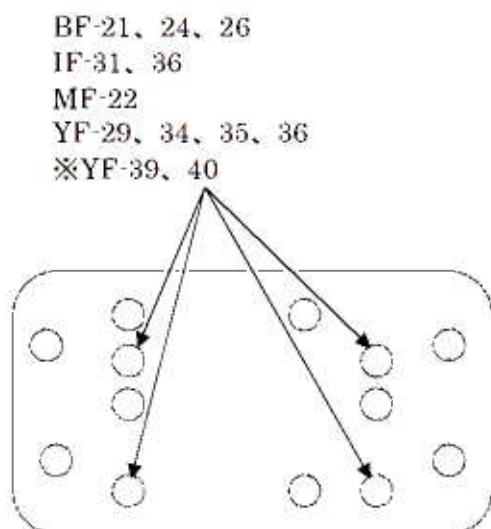
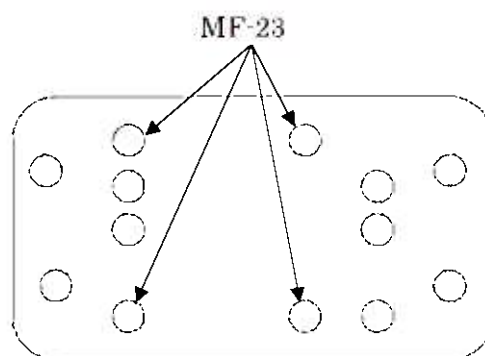
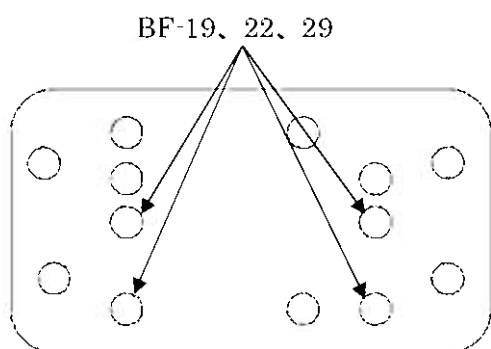
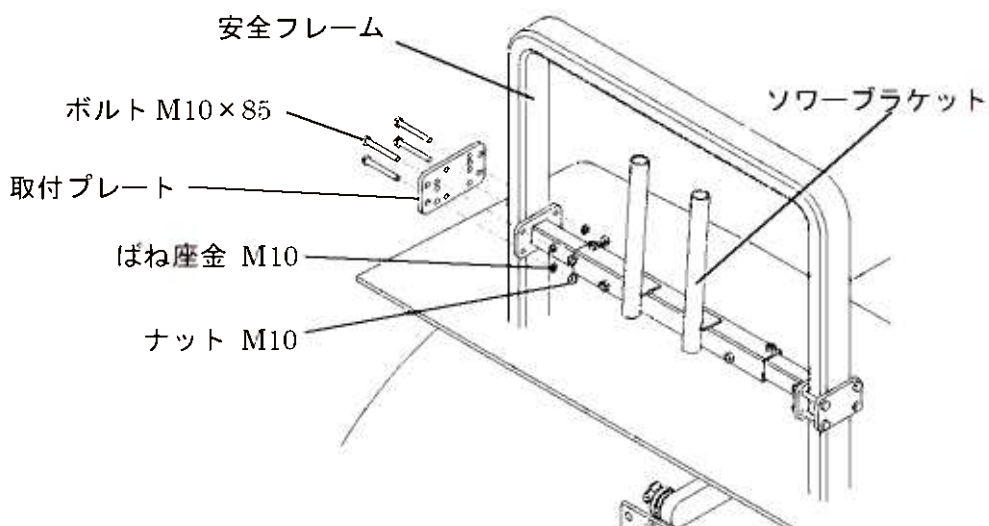
本体を取付金具パイプに差し込み、押しボルト M10×35 とナット M10 で締め込み固定します。



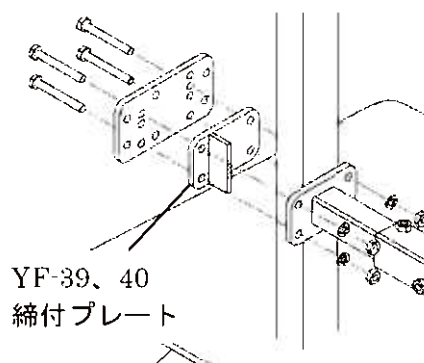
■トラクタ本機取付サンソワー共着

①取付プレートを取付ける

ソワーブラケットを取り付けているプレートの片側を取り外し、取り外したプレートの代わりに取付プレートで安全フレームを挟み込み、ボルト、バネ座金、ナットで固定します。
 ※取付プレートのボルトを通す穴は、使用されているソワーブラケットの型式により異なります。
 下の図を参照してください。



※YF-39、40 は締付プレートを取り外した後、図のように取付プレートと重ね、ボルト M10×85 で共締めしてください。

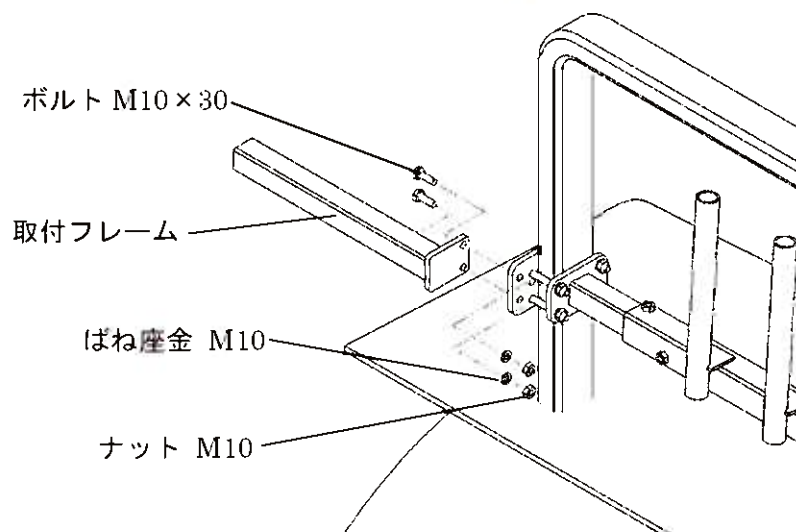


②取付フレームを固定する

本体を取り付けた時地面と垂直になるように、取付プレート両端の穴どちらかを使い

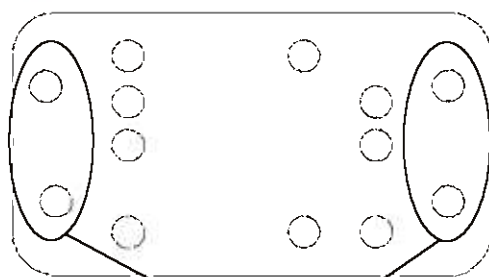
取付フレームをボルト M10×30、ナット M10、ばね座金 M10 で固定します。

※取付フレームがロータリーよりはみ出る場合は、取付フレーム角パイプ部分をカットしてください。

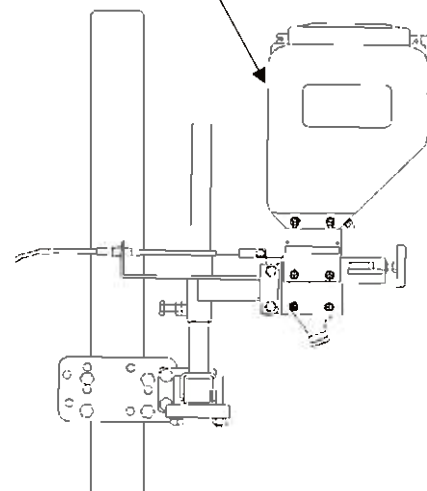


この面が地面と垂直になるように取り付けてください。

※プレートは上下、左右を反転させても、取り付け可能です。
取付位置、本体の傾きに合わせ調整を行ってください。

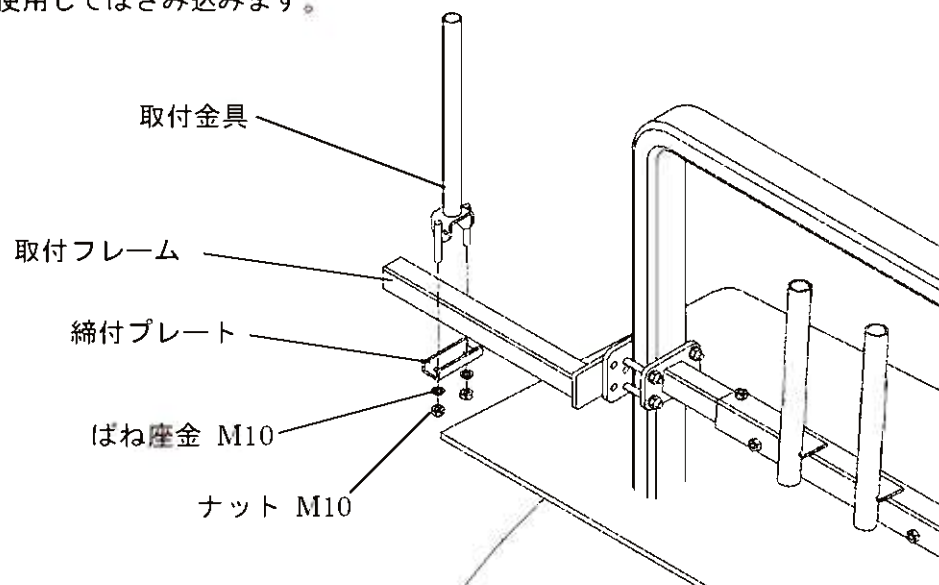


取付フレーム固定位置



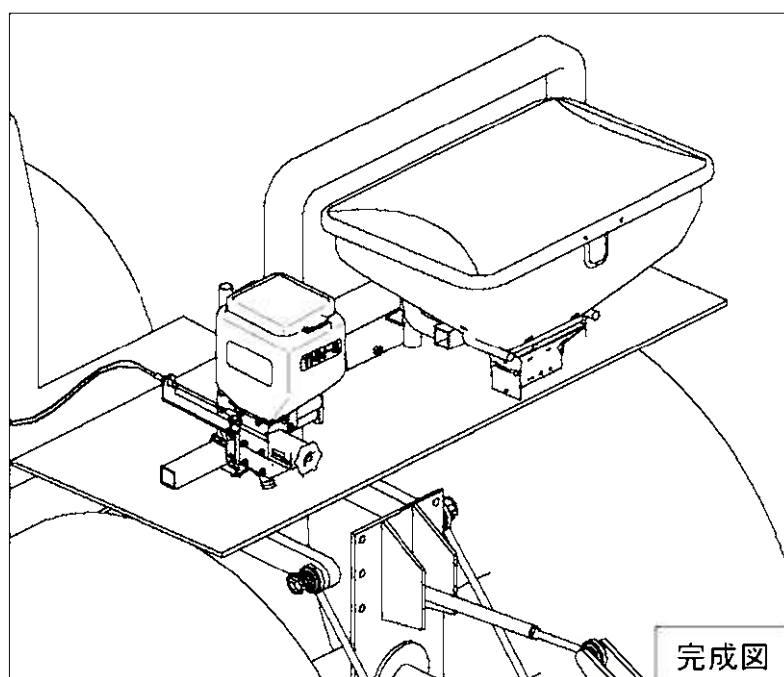
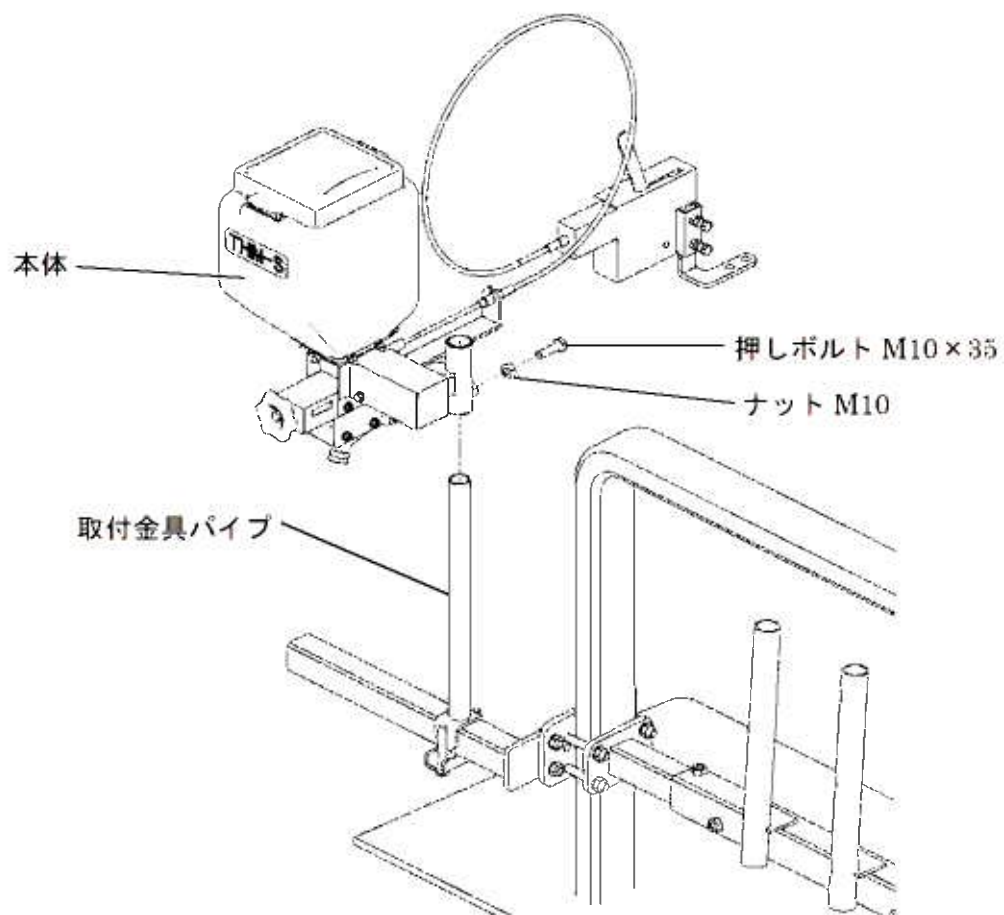
③取付金具を取付フレームに固定する

取付金具と締付プレートで取付フレームをナット M10 とばね座金 M10 を使用してはさみ込みます。



④ 本体を取付金具に固定する

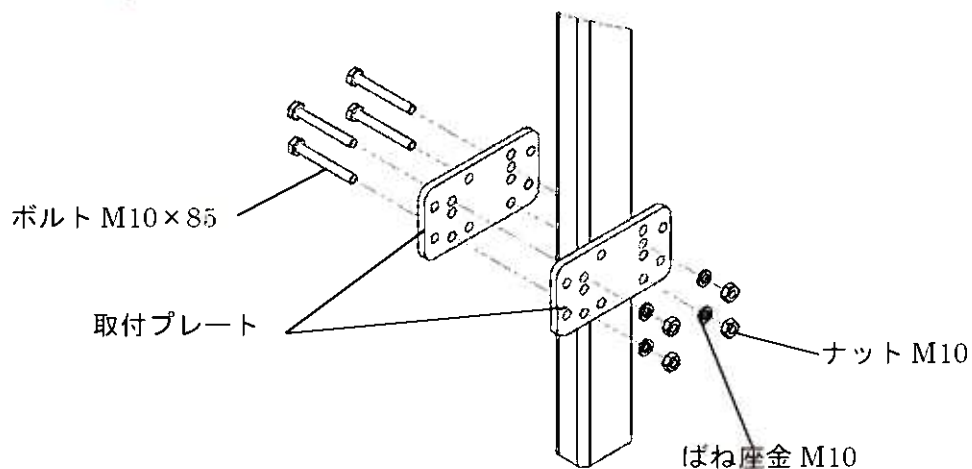
本体を取付金具パイプに差し込み、押しボルト M10×35 とナット M10 で締め込み固定します。



■角パイプ取付

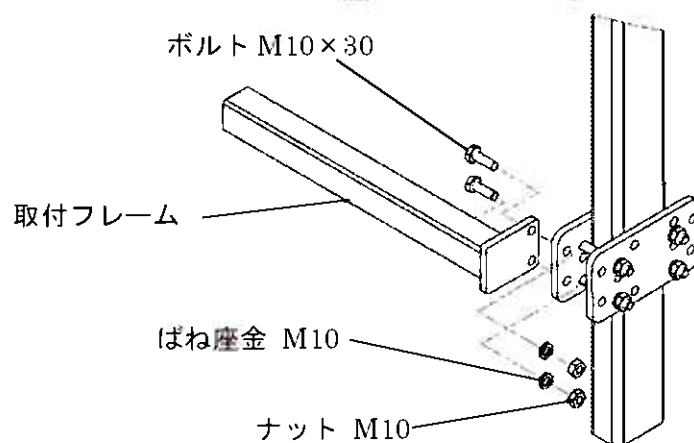
①取付プレートを取付ける

取付プレート 2 枚で角パイプを挟み込み、ボルト M10×85、バネ座金 M10、ナット M10 で固定します。



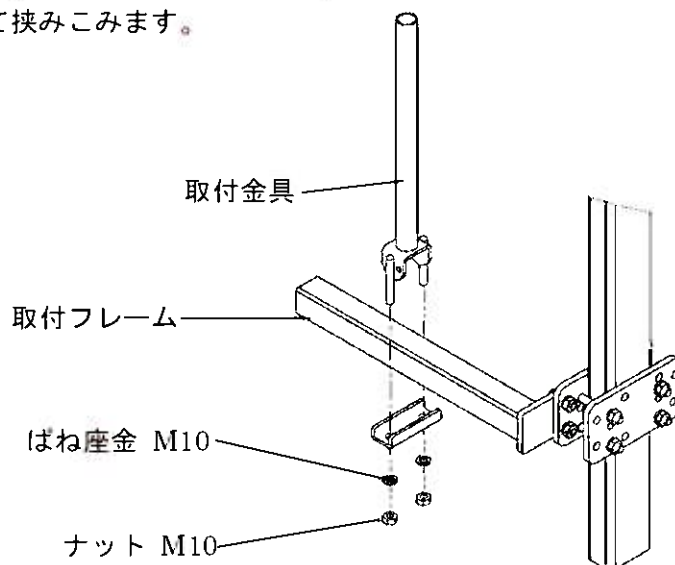
②取付フレームを固定する

本体を取り付けた時垂直になるように、取付プレート両端の穴どちらかを使い取付フレームをボルト M10×30、ナット、バネ座金で固定します。



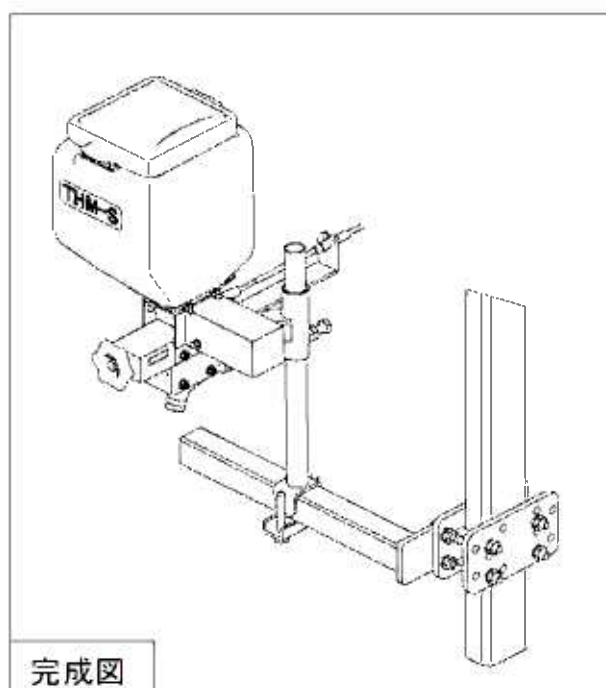
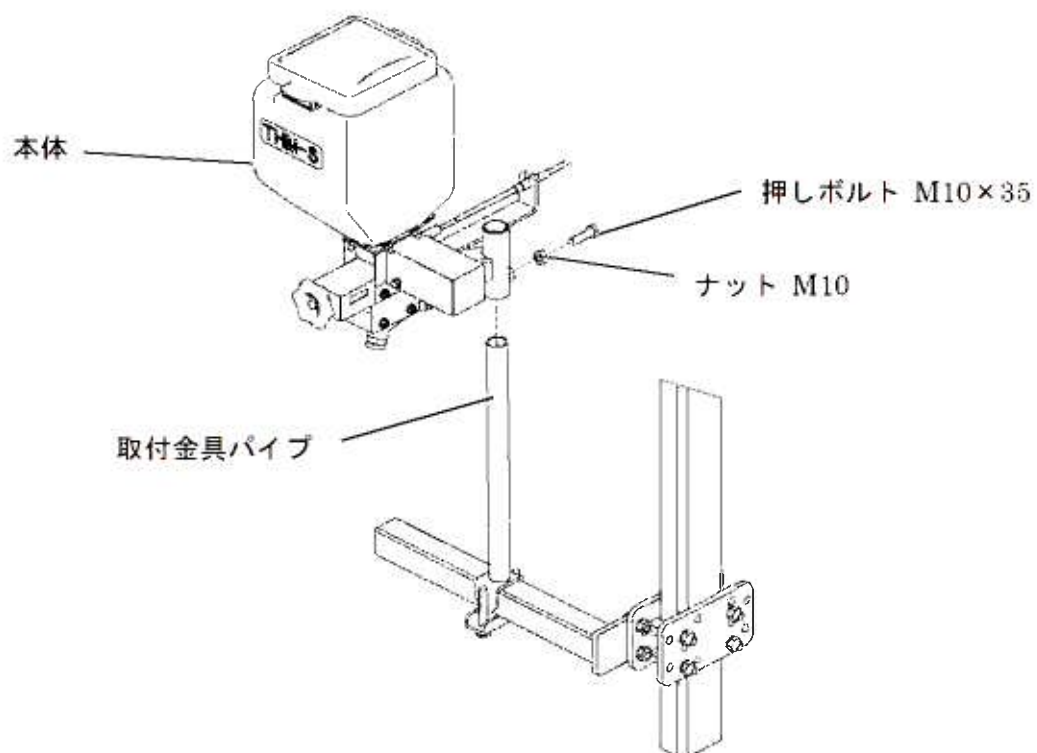
③取付金具を取付フレームに固定する

取付金具と締付プレートで取付フレームをナット M10 とばね座金 M10 を使用して挟みこみます。



④ 本体を取付金具に固定する

本体を取付金具パイプに差し込み、押しボルト M10×35 とナット M10 で締め込み固定します。



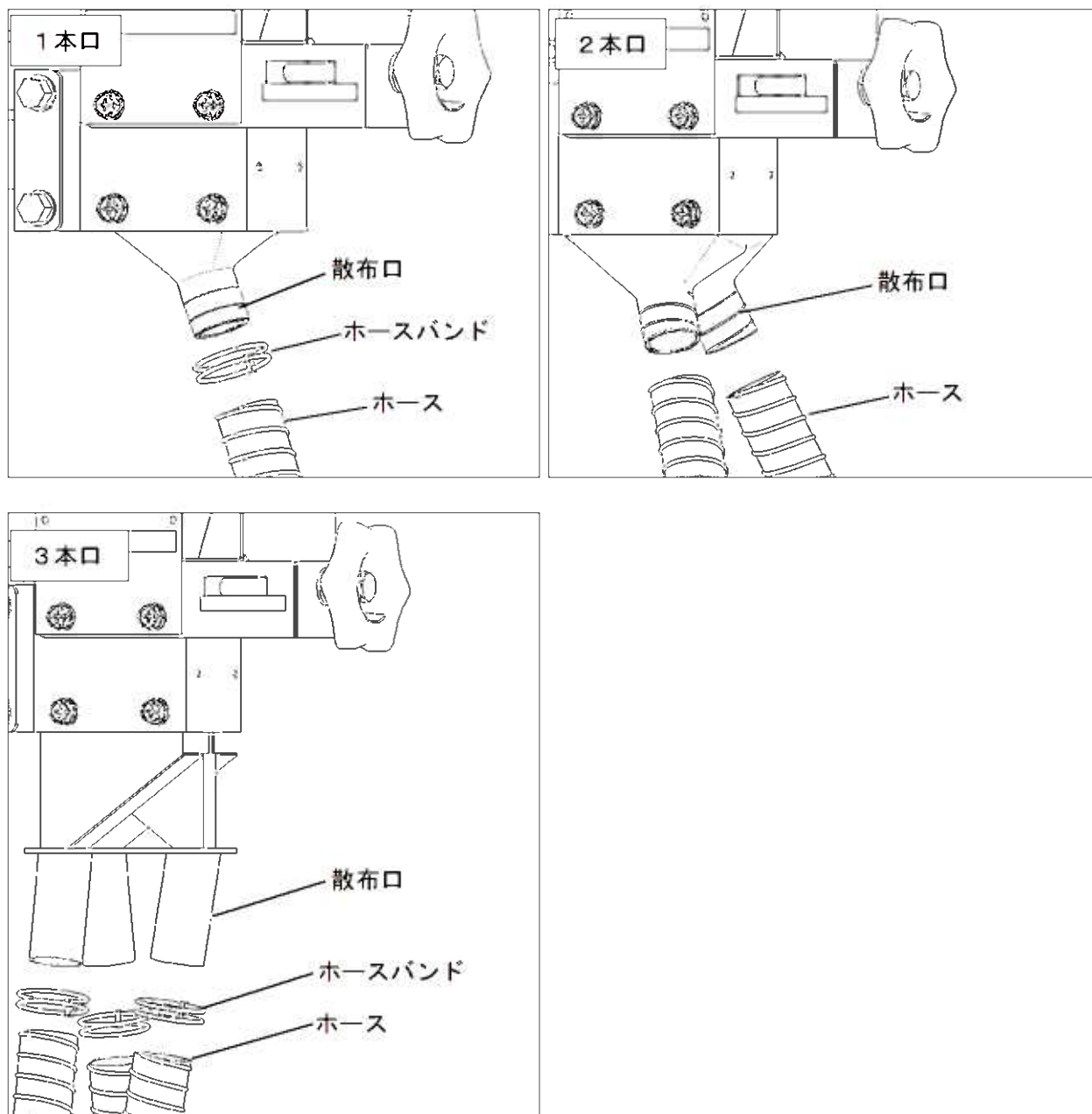
■ホースの取付

①ホースを散布口に取付ける

散布口にホースをらせんに沿うように回転させながら根元までねじ込んでください。

1 本口、3 本口は散布口にホースを取り付けた後、ホースバンドで締付け固定してください。

※2 本口はホースバンド不要です。

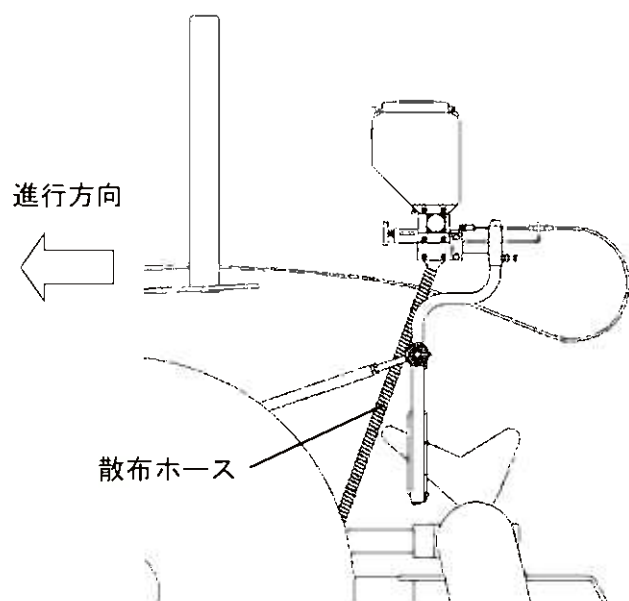


②ホースを散布口に取付ける

- 1、散布を行う位置を決めてください。
- 2、散布位置に合わせ薬剤の流れが確保できるように、押しボルトを緩め
本体の上下、左右位置の調節を行い再度固定してください。
※薬剤の流れはテスト散布を行い確認してください。
- 3、RT用取付け部で取付されている場合は、図のように散布位置によって
本体の方向を変更してください。

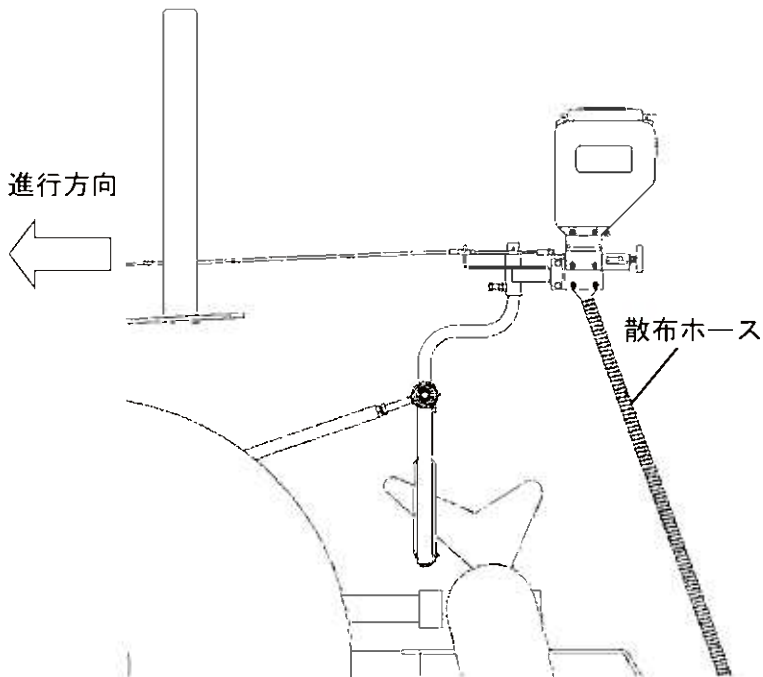
畦内散布

(ロータリー前方へ散布する場合)



表層散布

(ロータリー後方へ散布する場合)



③ホースの固定

付属のリピータイで任意の位置にホースを固定してください。

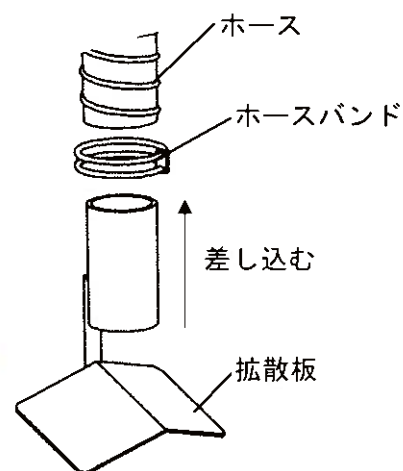
④拡散板をホースに差し込む



注意

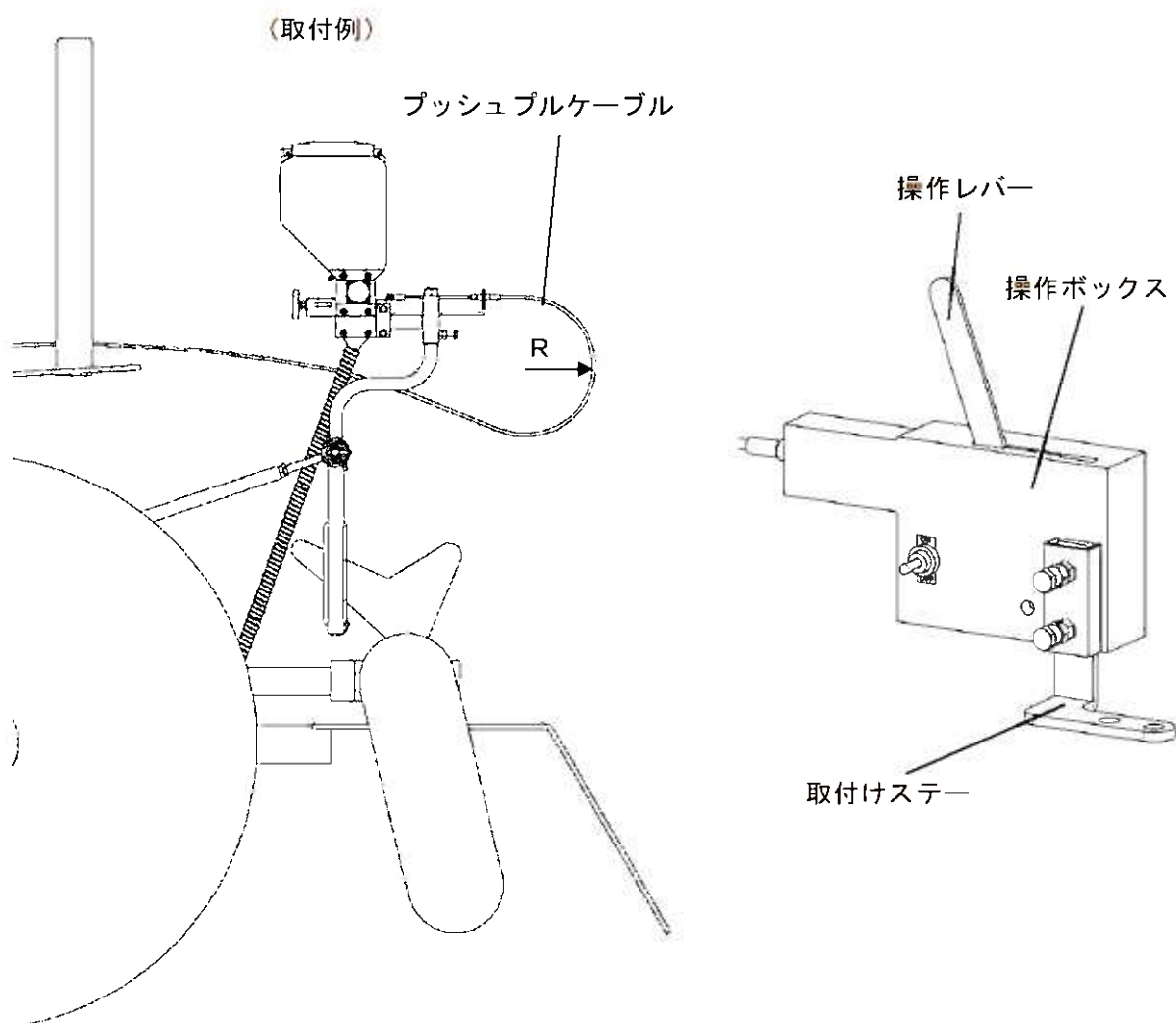
ホースを切断する時、手元に充分注意してください。

- ・ホースの長さは散布される位置に合わせ切って調節してください。
(カッターナイフよりハサミまたは稲刈鎌の方が安全です。)
- ・なお ホースを切る時は ロータリーを降ろした状態で行ってください。
- ・拡散板をホースに差し込み、ホースバンドで締付け固定してください。



■操作ボックスの設置

トラクタの機種によって取付方法が異なります。任意の場所に取り付けステーを固定し使用してください。※取付けステー固定用のボルト、ナットは付属していません。取付後は、操作ボックスのレバーを動かし、シャッターがスムーズに動くか確認してください。プッシュプルケーブルのRが小さくなるとシャッター開閉が出来なくなる場合があります。



■干渉の確認

①ロータリーを上昇させ干渉部分の有無をチェックする

- ・ロータリーをゆっくり上昇させながらチェックしてください。
- ・水平機構の付いたトラクタにおいては、ロータリーを左右に動かし干渉をチェックしてください。

○特に干渉に注意する箇所

・キャビン仕様のリヤウィンドウを開けた状態

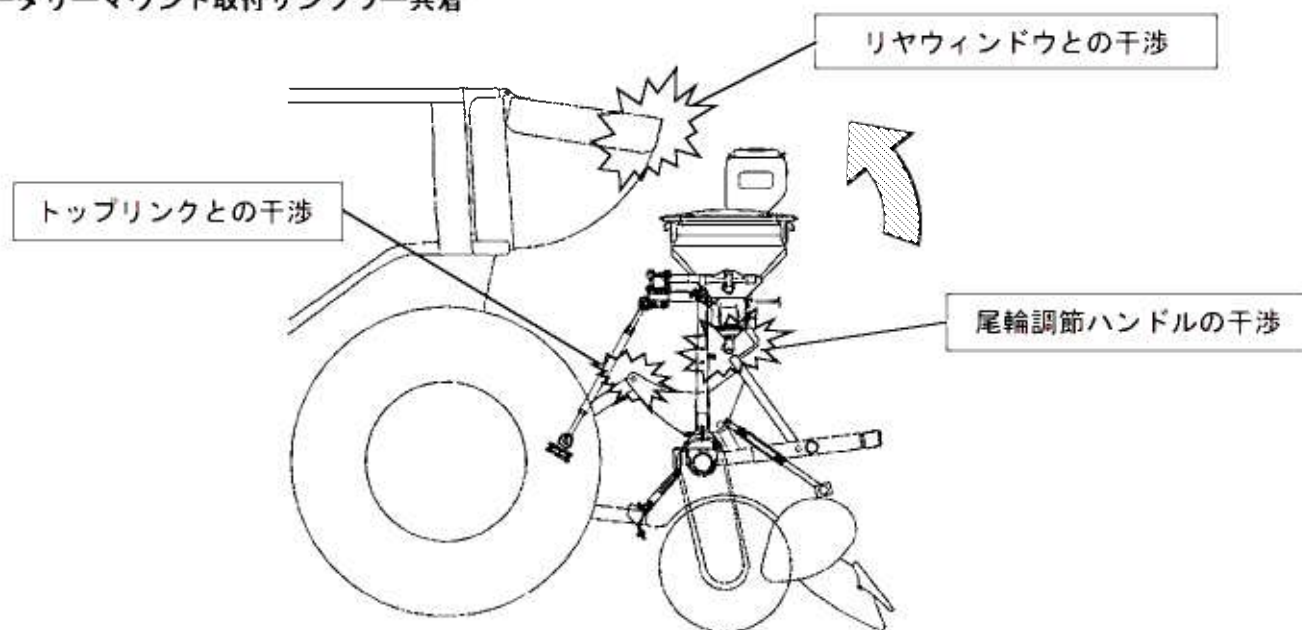
→ホッパーが座席後部に近寄ってきますので、開けておくとホッパーやリヤウィンドウガラスを破損する恐れがあります。

・尾輪調節のハンドル

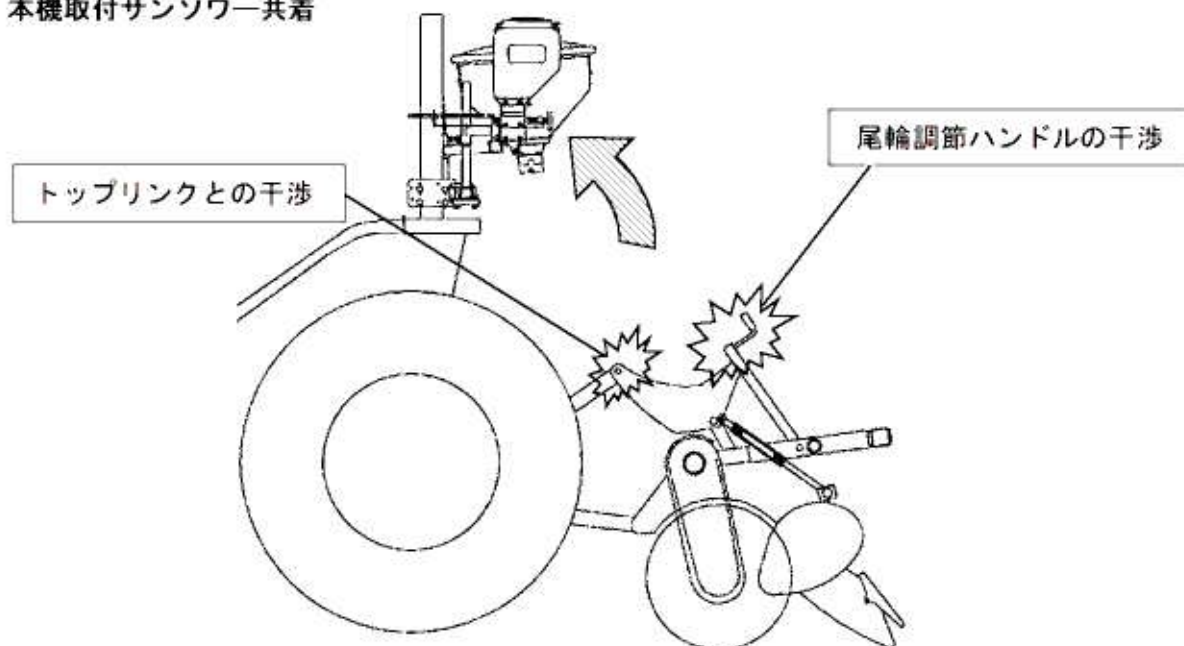
→ハンドルが上向きになっていると取付部のパイプに当たり、ハンドルを曲げる恐れがあります。

干渉する場合はロータリーの上昇位置の規制を行ってください。

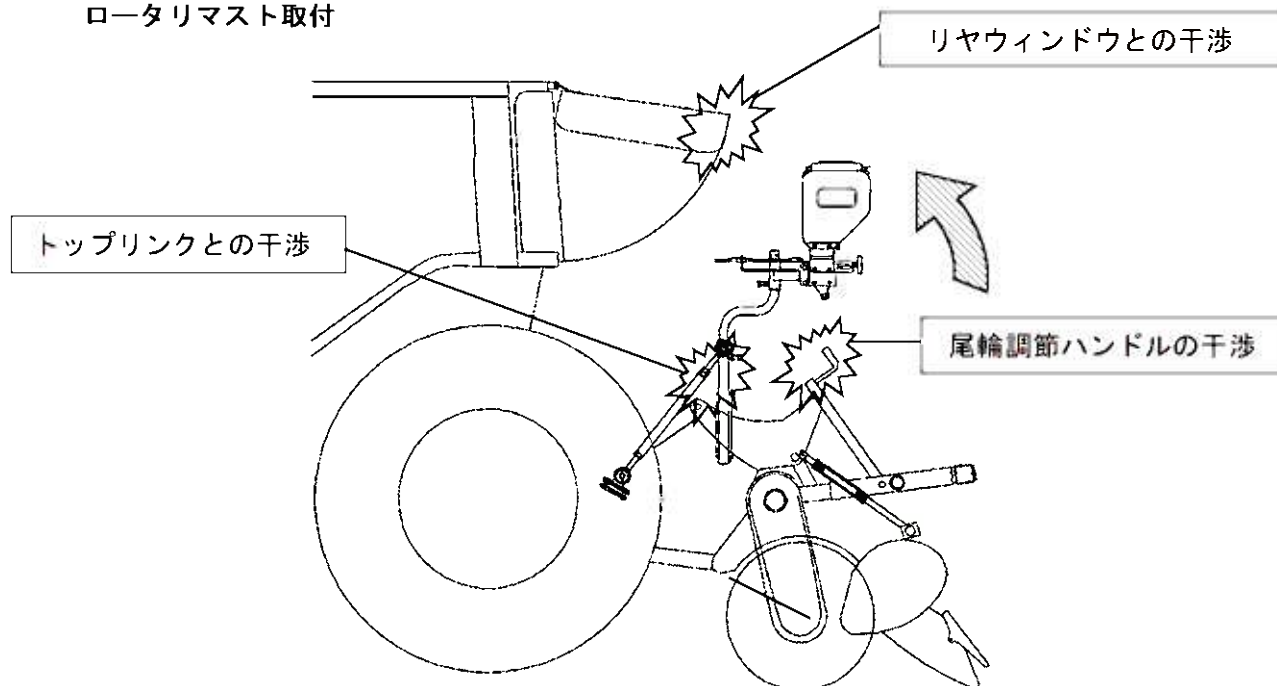
ロータリーマウント取付サンソワ共着



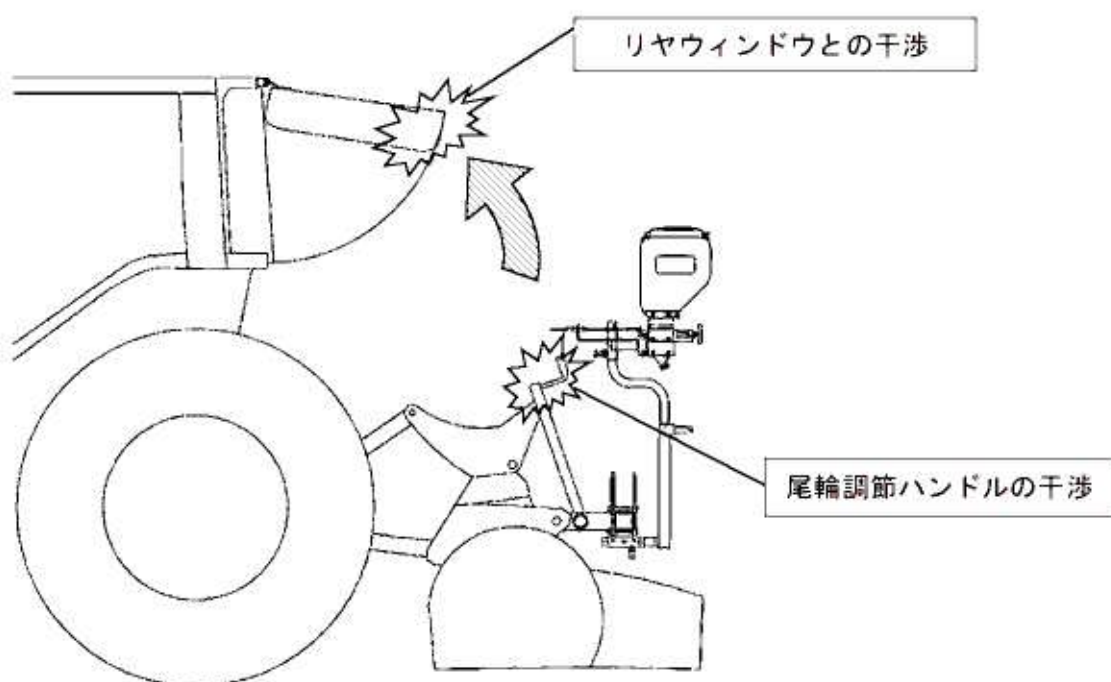
本機取付サンソワ共着



ロータリマスト取付



整形機取付

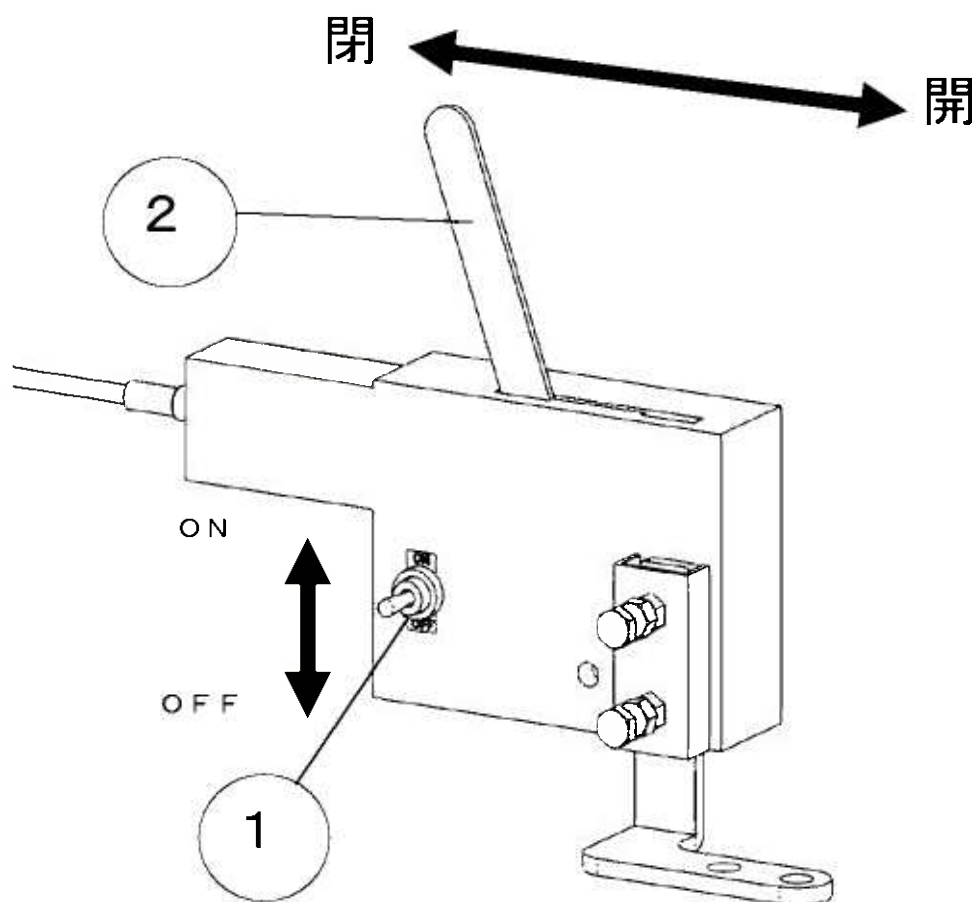


②各部の締付を確認する

ホッパー満タンの時には金具や支点には強い力がかかりますので、使用前にはもう一度締付を確認してください。

操作ボックス仕様

■操作方法



No	名称	機能
①	電源スイッチ	電源の「ON」、「OFF」をします。
②	操作レバー	開・・・攪拌モーターが作動し、開閉シャッターが開き、散布を開始します。 閉・・・攪拌モーターが停止し、開閉シャッターが閉じ、散布を停止します。

使用上の注意

- ◎散布を開始する場合は必ず電源スイッチが「ON」の状態で行ってください。
電源スイッチが「OFF」の状態で散布を開始すると攪拌モーターが回らず薬剤が散布されません。
- ◎長時間使用しない場合は電源スイッチを「OFF」にしてください。
バッテリー上がりの原因となります。

■配線のつなぎ方



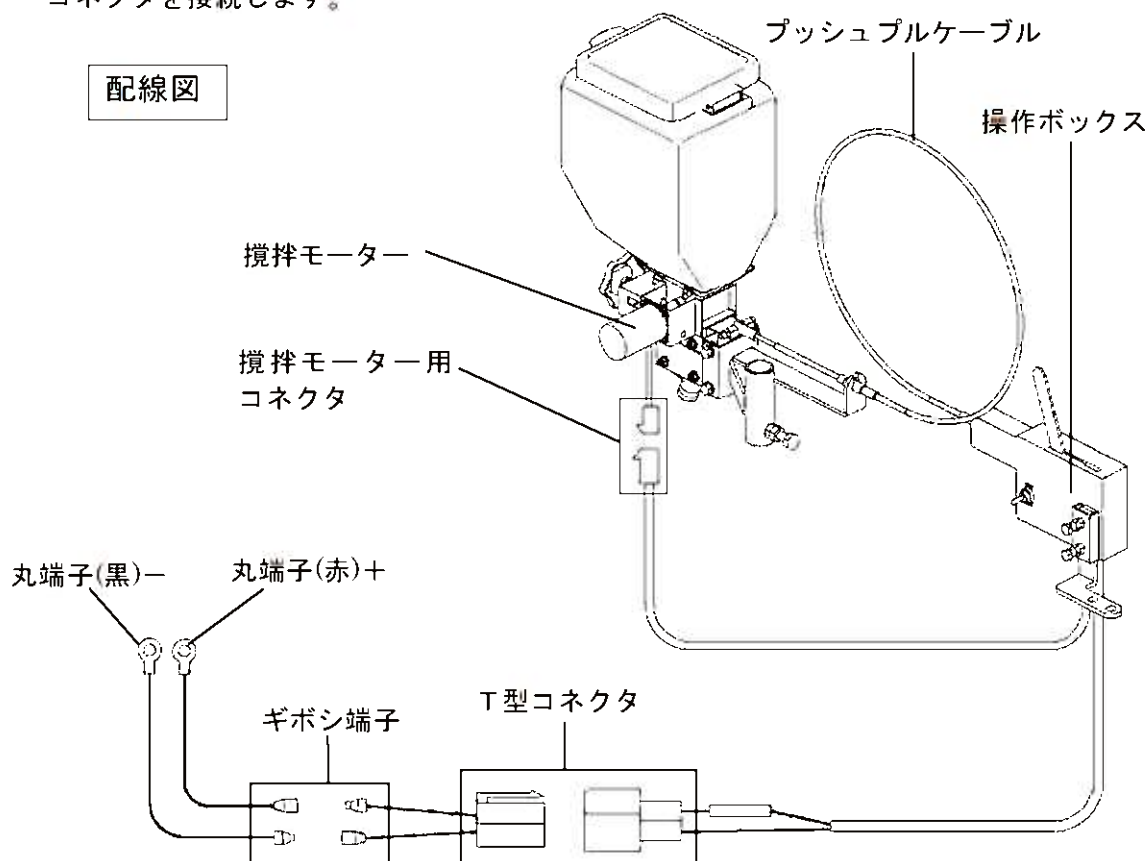
注意

ぬれた手でバッテリーや接続部にふれないでください。

①配線を接続する

- 1、本体の攪拌モーターより出ているコネクタと、操作ボックスより出ている攪拌モーター用のコネクタを接続します。

配線図



- 2、電源を接続します。下記の表を参照し、作業機用電源の形状に合わせた方法で電源を接続してください。

作業機用電源の種類	配線方法
T型コネクタ	操作ボックスのT型コネクタの接続を外し、トラクタ作業機用電源のT型コネクタと接続してください。
ギボシ端子	操作ボックスの丸端子(赤)＋を取り外し、トラクタ作業機用電源のギボシ端子を接続してください。 丸端子(黒)ーをトラクタのボディアースに接続してください。

- 3、接続したコネクタ、端子が確実に接続されているか確認してください。

②動作確認

- 1、電源スイッチを「ON」にします。
- 2、操作レバーを「開」の方向に倒します。
シャッターが開き攪拌モーターが回転しているか確認をしてください。
- 3、操作レバーを「閉」の方向に倒します。
シャッターが閉じ攪拌モーターが停止しているか確認をしてください。

③配線のたるみを直します。

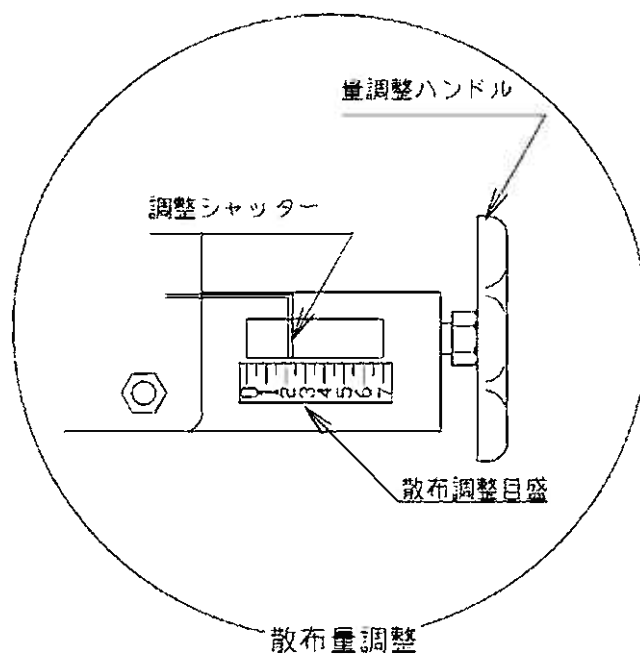
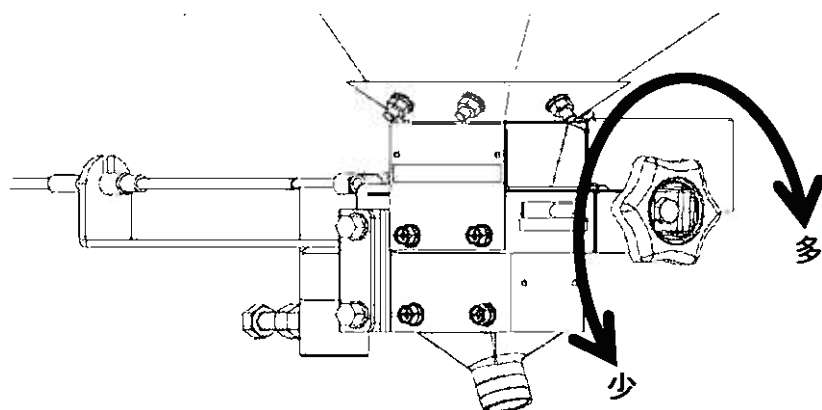
付属のリピータイでフレーム及び座席後部にたるまないようにたぐり止めます。

散布量の調整

■ 散布量調整ハンドル操作

※ 散布量調整は開閉シャッターを閉じた状態で行ってください。

散布量の調整は、量調整ハンドルを回し調整シャッターで開度を調節することで散布量が変わります。
ハンドルを右に回すと散布量が多くなり、左に回すと散布量が少なくなります。
数字が大きくなるほど薬剤が多く出ます。



■散布調整目盛の設定方法

※当表による数値は目安です。薬剤の形状・大きさにより差が出ますので、ご了承願います。
正確な調節方法は、1 分間当たりの散布量を計測してください。(25 ページ参照)

- ①作業時間計算表により 10 a (1 反) 当たりの作業時間を設定します。
- ②反当たり作業時間と反当たり施薬量の両方の数値によって、
該当する薬剤別散布目安表から目盛を求めます。
※1 本口、2 本口の散布目安表は 22～23 ページを参照してください。
※3 本口の散布目安表は 24 ページを参照してください。

〔例〕10 a 当たりの作業時間が 20 分で 10 a 当たりの散布量が
3kg (散布資材、トレファノサイド) の場合。

- ①まず、1 分間当たりの散布量を求めます。
 $1 \text{ 分間当たりの散布量} = 3\text{kg} \div 20 \text{ 分} = 0.15\text{kg}$
- ②次に、薬剤別散布目安表により散布調整目盛を求めます。
この場合、作業時間が 20 分のため、散布調整目盛は 3 になります。

※表記以外の薬剤を散布される場合は、あらかじめ 1 分間当たりの散布量を測定しておく
必要があります。

作業時間計算表 の見方

- 10 a (1 反) にかかる作業時間を求めるには
- ・作業時のトラクタの車速をトラクタの取扱説明書より求めます。
 - ・ロータリー幅を調べます。

下表の車速とロータリー幅の交わるところが 10 a にかかる作業時間となります。(単位：分)
なお、表はスリップ損失 12% (1.12) が掛けてあります。

作業時間計算表

例) ロータリー幅が 1.8m で車速が 1.0 km/h とする時 作業時間 = 37 分 / 10 a

車速 ロータリー幅	0.8 km/h	1.0 km/h	1.25 km/h	1.5 km/h	1.75 km/h	2.0 km/h	2.5 km/h	3.0 km/h	3.5 km/h	4.0 km/h	4.5 km/h
1.0m	84	67	54	44	38	33	27	22	19	17	15
1.2m	70	56	45	37	32	28	22	19	16	14	12
1.3m	65	52	41	34	30	26	21	17	15	13	11
1.4m	60	48	38	32	27	24	19	16	14	12	11
1.5m	56	45	36	30	26	22	18	15	13	11	10
1.6m	53	42	34	28	24	21	17	14	12	11	9
1.7m	49	40	32	26	23	20	16	13	11	10	9
1.8m	47	37	30	25	21	19	15	12	11	9	8
1.9m	44	35	28	24	20	18	14	12	10	9	8
2.0m	42	34	27	22	19	17	13	11	10	8	7

■薬剤別散布目安表 1本口、2本口用

※散布量調整目盛は最大7までありますが、1本口、2本口は目盛6で散布量最大となります。

トレファノサイド

目盛	1 分間当りの散布量(Kg)
1	散布不可
1.5	0.04
2	0.06
2.5	0.10
3	0.15
3.5	0.22
4	0.29
4.5	0.39
5	0.50
5.5	0.70
6	1.02

アドマイヤー

目盛	1 分間当りの散布量(Kg)
1	散布不可
1.5	
2	
2.5	
3	
3.5	0.06
4	0.10
4.5	0.14
5	0.26
5.5	0.46
6	0.76

オリゼメート

目盛	1 分間当りの散布量(Kg)
1	散布不可
1.5	
2	
2.5	
3	0.05
3.5	0.08
4	0.12
4.5	0.19
5	0.28
5.5	0.47
6	0.72

ダントツ

目盛	1 分間当りの散布量(Kg)
1	散布不可
1.5	
2	
2.5	
3	散布不可
3.5	
4	0.14
4.5	0.22
5	0.33
5.5	0.54
6	0.89

ネマトリン

目盛	1 分間当りの散布量(Kg)
1	散布不可
1.5	
2	
2.5	0.18
3	0.29
3.5	0.41
4	0.57
4.5	0.78
5	1.01
5.5	1.39
6	2.08

バスアミド

目盛	1 分間当りの散布量(Kg)
1	散布不可
1.5	0.08
2	0.14
2.5	0.21
3	0.29
3.5	0.39
4	0.51
4.5	0.63
5	0.82
5.5	1.08
6	1.52

ダーズバン

目盛	1 分間当りの散布量(Kg)
1	散布不可
1.5	
2	
2.5	
3	
3.5	
4	
4.5	0.12
5	0.20
5.5	0.38
6	0.65

ラグビーMC

目盛	1 分間当りの散布量(Kg)
1	散布不可
1.5	
2	
2.5	
3	
3.5	0.25
4	0.34
4.5	0.46
5	0.60
5.5	0.85
6	1.27

■薬剤別散布目安表 3 本口用

トレファノサイド

目盛	1 分間当りの散布量(Kg)
1	0.008
1.5	0.05
2	0.12
2.5	0.20
3	0.29
3.5	0.35
4	0.45
4.5	0.56
5	0.65
5.5	1.20
6	1.74
6.5	1.85
7	1.94

■ 1 分間当たりの散布量計測

正確に散布調整目盛を設定したい場合は、事前に定置で繰出テスト（1分間当たり量計測）を行って下さい。

①計算により目標値（1分当たりの量）を求めます。

$$\frac{1 \text{ 反当たりの散布量 (kg)}}{1 \text{ 反当たりの作業時間 (分)}} = 1 \text{ 分当たりの散布量 (kg)}$$

②ホッパーに薬剤を入れ、落下する薬剤の重量を量るために散布ホースの先に袋をセットします。

③薬剤別散布目安表から（仮の）散布調整目盛を合わせます。

④電源スイッチを「ON」にし、開閉シャッターを開けると同時に時計で1分間を計測します。

1分経過と同時に開閉シャッターを閉じて散布を止めます。

※このとき、トラクタのエンジンをかけて作業時のエンジン回転数にしてください。

そうしないと電圧が変化することがあり散布精度に影響します。

また、薬剤が落下していることを確認してください。

⑤袋を取り外し、落下した薬剤の重量を計測します。

⑥測定結果が目標値に近づくように散布調整目盛を調節してテストを繰り返し、最良の位置を決定して下さい。

■ データ記録表

作 目	薬 剤 名	反 当 作 業 時 間	目 盛	備 考

1日の作業

■作業前の点検

1日の作業を始める前に下記の確認を行ってください。

- 1、散布量調整目盛が設定値になっているか
- 2、コネクタのゆるみ、外れが無い
ゆるみ、外れがある場合は確実に接続してください。
- 3、操作ボックスの動作確認
※19ページ「②動作確認」参照
 - ・開閉シャッターが確実に閉まっているか、開いているか
 - ・開閉シャッターを開いたときに、攪拌モーターの動作に異常がないか

■作業の流れ

 警告	・農薬用マスク、保護メガネ、手袋などを着用し安全な服装で作業して下さい。 ・ホッパーに残った薬剤は必ず完全に排出して下さい。有毒ガスによる危被害の恐れがあります。 ・薬剤散布作業後の機体、散布装置は十分に洗浄し、洗浄廃液は安全な場所に処理して下さい。 【守らないと】 薬剤による中毒等をおこす恐れがあります。
 注意	薬剤の投入は平坦な場所で管理機とロータリーを停止させ、かつスタンドを立てた状態で行ってください。 【守らないと】 転倒により事故をまねく恐れがあります。

①薬剤の投入

ホッパーのフタを開き、開閉シャッターが確実に閉まっていることを確認し薬剤を投入してください。

②散布の開始

18ページ「操作方法」を参照し散布を行ってください。

作業中の注意

- ◎作業中は定期的に散布状態の確認を行ってください。
 - ・薬剤が落下しているか
 - ・ホースのつまりが無い
 - ・攪拌モーターは回っているか
- ◎初回作業は10aの作業が終わった時点で、適正量の散布が行えているか確認してください。

③散布の停止

18ページ「操作方法」を参照し散布を停止してください。

■1日の作業が終了したとき

- ・電源スイッチを「OFF」にしてください。
- ・ホッパー内及びシャッター部、散布口、ホースに残った薬剤を完全に除去してください。

作業終了時の注意

- ◎作業終了後、ホッパー内の薬剤をそのまま放置すると散布量の不具合や動作不良、過負荷等、翌日の作業に支障をきたす恐れがあります。

不調の発見と処置

- ・不調を**発見**したらすぐにその原因を調べて**処置**をし、故障が広がらないようにします。
 - ・原因がわからないときや、修理調整しても再**発**するときは”お買上げ先”に相談し、点検サービスを受けてください。
- その際は「製造番号」(本体に貼付けてあります)をあわせてお知らせください。

 注意	清掃や整備は必ず電源コードをはずして手袋を着用して行ってください。
 注意	モーター回転時は回転部分へ手や身体を近づけないでください。

THM-S

症状	原因 (点検箇所)	処置
攪拌用モーターが回らない	モーターのコネクタまたは端子接続部	接続がされているか確認してください
	操作ボックスの電源が「ON」になっていない	電源スイッチを「ON」にする
	ヒューズが切れている	定格容量(3 A)のヒューズに交換してください
シャッターが動かない	プッシュプルケーブルのRが小さい	Rが大きくなるように取り回してください
	プッシュプルケーブルが折れ曲がっている	プッシュプルケーブルを交換してください。

保管

⚠ 注意	清掃や整備は必ず電源コードをはずして手袋を着用して行ってください。
⚠ 注意	ホッパーをシンナーや濃い中性洗剤で拭くと、ひび割れすることがあります。掃除は水拭きをおすすめします。

清掃時の注意

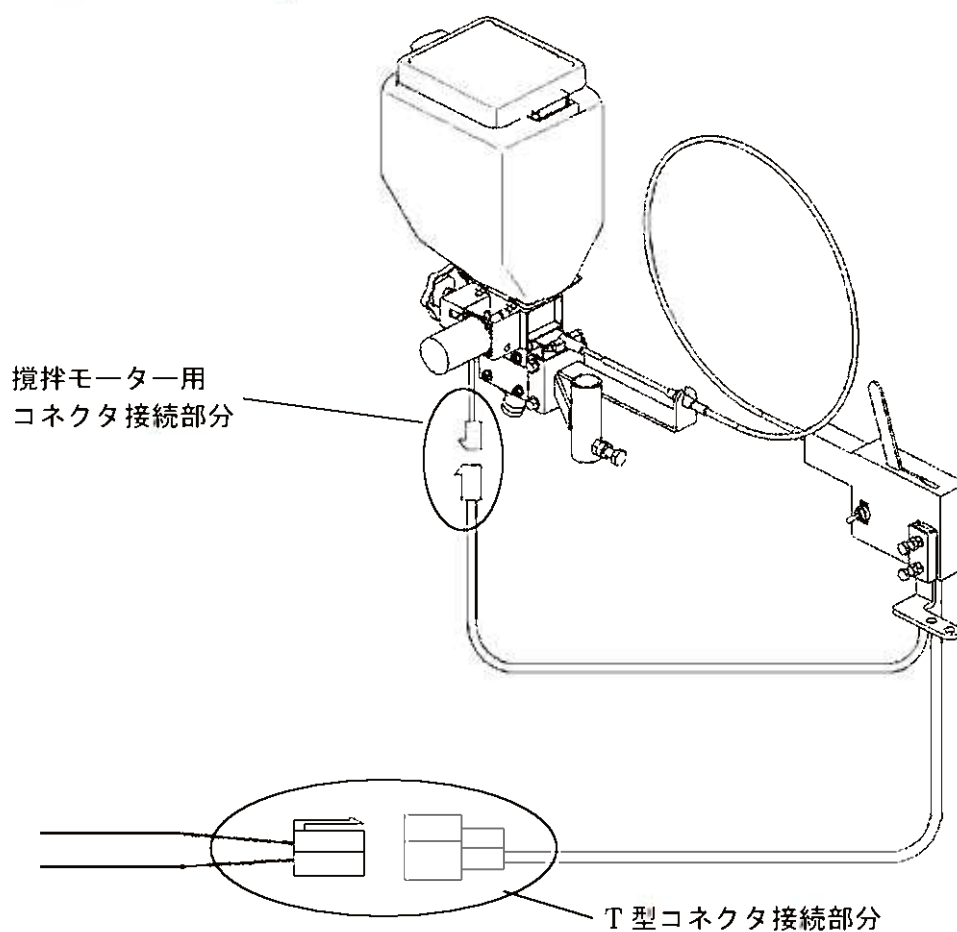
◎モーター、操作ボックスは水濡れ厳禁です。清掃に際しては充分注意してください。

■シーズンの作業が終了したとき

⚠ 警告	格納時は電気部品や配線類のコードを点検し、トラクタとの接続を外しておいてください。
-------------	---

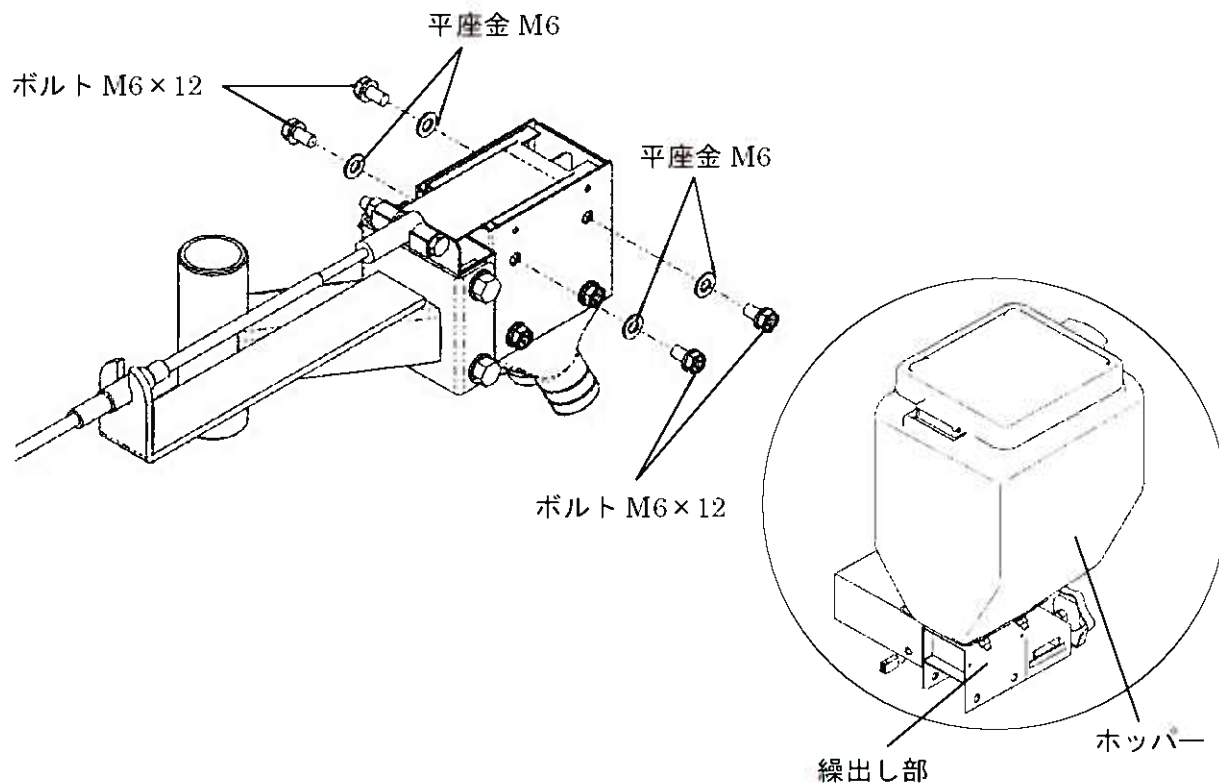
① 26ページの“1日の作業が終了したとき”と同様の清掃を行ってください。

② T型コネクタの接続を取り外します。

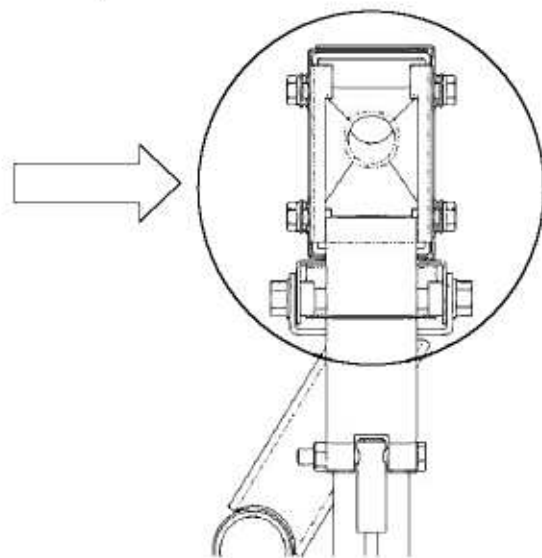


③ 攪拌モーター用コネクタの接続を取り外します。

- ④ 図の 4 ヶ所のボルト M6×12 と平座金 M6 を取り外し、開閉シャッターより上の繰り出し部、ホッパーを取り外します。



- ⑤ 開閉シャッターを開き、繰り出し部周辺の清掃を行ってください。



- ⑥ 取り外したホッパー内部に資材のかたまりや異物などが無いか確認してください。
かたまり、異物がある場合は取り除いてください。
- ⑦ “④” で取り外したホッパーと繰り出し部を M6X12 と平座金 M6 で取り付けてください。
- ⑧ “③” で取り外したコネクタを接続してください。
- ⑨ 取付金具からホッパーを外し、金具類はピン及び締付ナット等をゆるめ、分解・収納します。

取扱説明書品番 54548 000M0

2018. 12 月

製造元



株式会社 ジョーニシ

〒528-0037 滋賀県甲賀市水口町本綾野4番1号
TEL 0748 (62) 4110 (代表) FAX 0748 (62) 9054
<http://www.jonishi.co.jp>